

# 社協だより

## 歳末たすけあい運動にご協力下さい！

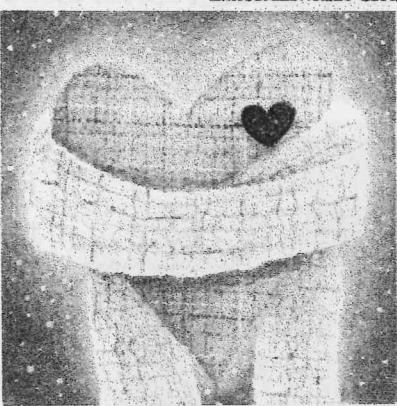
毎年12月に「共同募金運動」の一環として、社会福祉協議会が中心となって実施しております。この運動によって都内社協に寄せられた募金は、東京都共同募金会によって取りまとめられ、来年度（平成30年度）の地域福祉事業の財源として改めて各地域に配分されます。

三宅島社協では赤い羽根共同募金運動に引き続き、各商店のご協力により12月25日（月）まで募金活動を行います。

「つながり ささえあうみんなの地域づくり」を合い言葉に、「地域のつながり」を再生させ、身近な地域で支え合う「地域の福祉力」向上にご協力をお願い致します！

平成29年12月1日発行  
社会福祉法人 三宅島社会福祉協議会  
(東京都三宅島三宅村阿古497)  
TEL 04994-5-7051(代表)  
FAX 04994-5-7054  
IP 5-3155

## 歳末たすけあい運動 平成29年暮 「歳末たすけあい・ 地域福祉活動募金」



<http://www.tokyo-akaihane.or.jp>

つながり ささえあうみんなの地域づくり

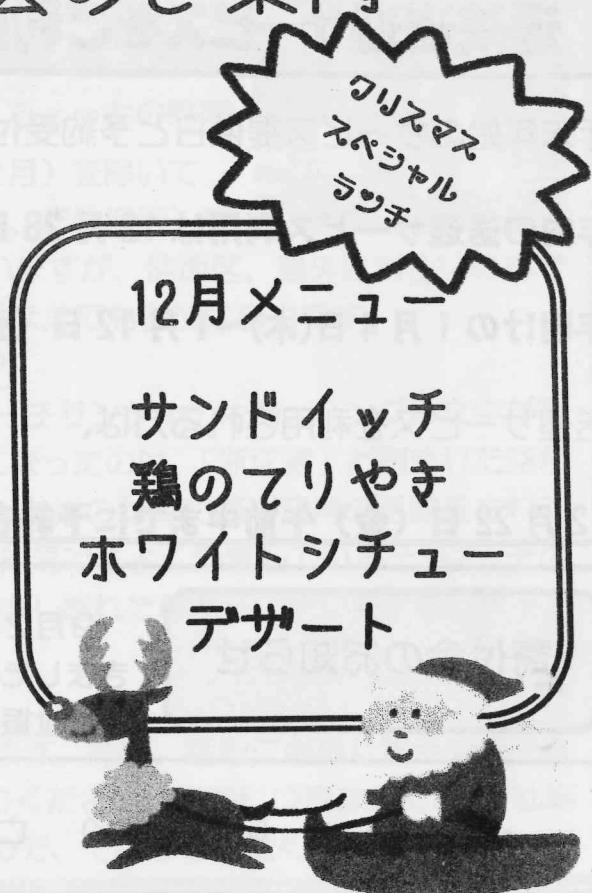
## 12月9日（土）会食会のご案内

会食会恒例の12月クリスマス会を今年も行います！  
いつもの会食会とは一味違うクリスマス会食会に皆さん、是非お越しください！  
皆さんでクリスマスを楽しみましょう★

会場：伊豆避難所  
日時：12月9日（土）10時～14時  
参加費：500円  
申込：三宅島社協 5-7051

送迎の準備がござりますので、  
予約は12月4日までに三宅島社協まで  
ご予約お願いいたします！

10月会食会は台風接近に伴い中止とさせていただきました。  
会食会にお申込み頂いた皆さんにはご迷惑をおかけし、  
大変申し訳ございませんでした。改めてお詫び申し上げます。



## 地域活動支援センター“いぶき”だより

9月に行われた福祉まつりでの創作品販売は、多くの方々に購入いただき、ありがとうございました。販売当日は利用者も参加し、多くの住民と話をしたり、日々の〈頑張り〉が形になるなどの様々な“ふれあい”を楽しむことができ、次の販売会に向け創作活動の意欲も高まったようです。また、日々活動を支えてくれるボランティアの方々に感謝いたします。次回の創作品販売は、2月頃予定しています。

【販売予定品】そうきん、丸マット（指あみ）、わらじ、さをり生地を使ったクッションカバー、座布団、ファスナーポーチ、コースターなど

※数に限りがありますが、事前発注も受付いたします。社協事務局までご連絡ください。

【寄付のお願い】創作で使用する《未使用タオル》の募集中！！

### 《今月の活動》

月曜・水曜・木曜（10:00～15:00）☎6-0294

場所：坪田福祉社会館内

縁 花 日 12月6日（水）、13日（水）、20日（水）

クリスマス会 12月25日（月）

大 掃 除 12月27日（水）※年内最終日

☆ 活動サポートボランティア募集中！！

※ボランティア参加される方は事前に事務局（☎5-7051）までご連絡下さい。



福祉まつり販売での様子 ↑

## 通院送迎サービスをご利用の皆様へ

年末年始のサービス提供日と予約受付についてお知らせします。

年内の送迎サービス利用は12月28日（木）までとなります。

年明けの1月4日（木）～1月12日（金）の期間に

送迎サービスを利用される方は、

**12月22日（金）午前中までに予約をお願いいたします。三宅島社協 ☎ 5-7051**



### 寄付金のお知らせ

9月27日～11月27日までの間に下記の方からご寄付いただきましたのでご報告いたします。ご厚志誠にありがとうございます。福祉振興のため、大切に使わせていただきます。

- ・ 松 岡 良 明 様 より 亡母：俊 枝 様の香料より 高齢者福祉事業のため。

消費者被害、虐待の疑い、借金の心配など、法律に関する困りごとがある場合は日本司法支援センター「法テラス」にて弁護士や司法書士による相談支援を無料で受ける事が出来ます。

### 法テラスとは？

法テラスは、正式名称を日本司法支援センターといい、総合法律支援法（2004年6月公布）に基づき、政府全額出資で設立された公的な法人です。

全国の都道府県111ヶ所に事務所が設けられ、一定の収入・資産以下の経済的に余裕のない方を対象とした無料法律相談が行われています。

弁護士会・司法書士会と連携して、法テラスは法律問題を含めた様々な問題の総合的な解決に向けて取り組んでいます。

### 弁護士や司法書士による出張法律相談も

法テラスでは経済的に余裕が無い方への出張法律相談が行われています。65歳以上の高齢者、心身に重度又は中度の障害がある方、やむを得ない事情により相談に行くことが難しい方で経済的に余裕が無い場合には弁護士・司法書士による出張法律相談を無料でご利用いただく事が出来ます。

事業に関するご質問や法律相談など、法テラス東京（☎ 050-3383-5300）までご連絡ください！

### 法テラスの主な対応サービス

電話相談

代理法律相談

出張法律相談

弁護士・  
司法書士費用  
の立て替え

業務説明会・  
法律講座  
の実施

など

### 職員紹介『島の地域福祉のために』

私が三宅島に赴任したのが2014年12月29日ですので、まもなく丸3年となります。その時は50歳、孔子の論語にある「知命」、「人生50にして天命を知る」年齢です。

そんな境地に至った訳ではありませんが、この島の地域

福祉に何かお役にたつことができればとやってまいりました。昭和39年東京五輪の年に調布市で生を受け、二度目五輪は三宅島。何かの縁と思い、第二の人生を歩みます。「知命」とは「天が自分自身に与えた使命を悟る」ことだそうで、天より与えられた使命を全うできますよう頑張ってまいりますので今後とよろしくお願ひ申し上げます。



事務局長 磯藤 央

## 今月のボランティア募集

### 【認知症・転倒予防のための阿古サロン】

日 時：毎月第1・3 火曜日  
9:30～11:45  
場 所：阿古福祉会館（旧阿古保育園）  
活動内容：会場の設営・片づけ、参加者とのお話し相手など ※随時募集中  
問合せ先：包括支援センター☎ 6-1832（肥後）

### 【認知症・転倒予防のための伊豆サロン】

日 時：毎月第2・4 水曜日  
10:00～13:15  
場 所：伊豆老人福祉会館  
活動内容：会場設営・後片付け、参加者とのお話し相手、送迎・簡単な介助など  
※随時募集中  
問合せ先：包括支援センター☎ 6-1832（高橋）

随時募集を行っています！  
お気軽にお問い合わせください！

### 【坪田常盤クラブ（月曜サロン）】

日 時：毎週月曜日 9:00～11:30  
場 所：坪田福祉会館  
活動内容：会場の設営・後片付け、参加者とのお話し相手、送迎・簡単な介助など  
問合せ先：☎ 090-4541-9277（堀井）

### 【認知症・転倒予防のための木曜サロン】

日 時：毎週木曜日 9:30～13:30  
場 所：神耆老人福祉会館  
活動内容：会場の設営・後片付け、参加者とのお話し相手、送迎・簡単な介助など  
※ 随時募集中  
問合せ先：めぐりケアセンター  
☎ 090-2655-1529（前田）

ボランティア活動をする方は、事前にボランティア活動中における事故やケガなどを補償するボランティア保険への加入をお勧めします。島内でボランティア活動を希望している方、活動する方に対し、社協ではボランティア保険料の一部助成を行なっております。（登録制）また、ボランティアを必要とする個人、団体などからの相談・受付をしております。ボランティア活動団体への助成金申請についてもご相談下さい。

【ボランティアに関する問い合わせ先】☎ 5-7051（担当：吹田）・Eメール [mjshakyo@jeans.ocn.ne.jp](mailto:mjshakyo@jeans.ocn.ne.jp)

## 三宅島社協非常勤職員募集

三宅島社協では下記の通り、非常勤職員を募集しています。詳細につきましては、三宅島社協事務局☎ 5-7051（担当：齋藤）までお問い合わせください。

### 社会福祉協議会生活支援員

【主な業務】社協で運営している事業での利用者に対する生活支援  
【勤務時間】概ね週3日程度 9時から15時の範囲（応相談）  
【資格要件】普通自動車免許（必須）ヘルパー2級以上（あれば尚可）  
福祉に関する業務経験者（あれば尚可）  
【待遇】時給1,000円（交通費別途支給）

### 訪問介護員

【主な業務】  
清掃・調理・入浴介助等訪問支援  
【勤務時間】  
8時30分～17時30分までの間  
(曜日時間は応相談)

### 【資格要件】

ホームヘルパー2級以上・普通免許

【待遇】  
時給1,250円

### 地域福祉権利擁護事業生活支援員

【主な業務】福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理の支援、手続き支援など  
【勤務時間】月～金のうち2時間程（登録型勤務、曜日時間は応相談）  
【資格要件】普通免許 【待遇】時給1,000円（交通費別途支給）



# 地域の掲示板

## “風のカフェ”（認知症等介護者のためのカフェ）

暑かった夏はどこへやら。急に冬の寒さがやってきました。この時期心配なのは「カゼ」や「インフルエンザ」の流行ですね。一人ひとりがうがいや手洗い、マスク等できることをして気をつけて過ごしましょう。



11月のカフェは少し肌寒さを感じる陽気でしたが、みんなで楽しい時間を作ることができました。新しいお仲間において頂いたことで、新しい出会いと共にとても良い交流の機会となりました。介護に向き合われる方々からは、「介護と共にご自身のくらし」についてお話いただきました。介護を始める前からしていた運動や趣味を、時間を都合して続けておられるお話を伺い、連続する生活の中では介護だけではない色々な機会があることの大切さを感じました。

『風のカフェ』では、ご自宅で介護に向き合っている方や、これまで介護をご経験された方々のお越しをお待ちしています。また、介護を受けられているご家族の方も、ご一緒に参加できます。

どうぞ一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

**次回開催 12月9日(土) 9:00 ~ 11:30** (毎月1回: 土曜日) 次々回は1月13日(土) の開設を予定しています。

開設日は、村役場にご協力いただき IP 告知端末でもご案内頂いております。そちらもご覧ください。

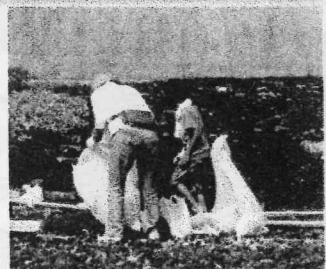
問合せ: 5-1470 (みやけじま風の家) / 5-0904 (三宅村役場福祉健康課 福祉係)

## [坪田地区ピーチクリーンクラブ]のご紹介！

坪田地区ピーチクリーンクラブ代表の高田祐資さんから活動の様子について伺いました。

**Q: どのような活動を行っているのでしょうか?**

A: このクラブは、坪田地区の海岸周辺のゴミ拾いや地域美化に関するボランティア活動を目的として平成27年8月から活動を開始しました。「地域のために役に立ちたいと思うほんの少しの気持ちを持って、ちょっとの時間で、無理せず続ける」をモットーに、冬季（12月～翌年2月）を除いて「毎月1回1時間」程度ですが、坪田地区の海岸（長太郎池、三池浜等）周辺のゴミ拾いを中心に活動しています。坪田地区で行っていますが、他地区、島外にお住いの方でも、クラブ活動の目的に賛同していただける方であれば、どなたでも参加は自由です。



**Q: 海岸周辺のゴミ拾いでは、どんなゴミが目立ちますか?**

A: 漂着ゴミが目立ちますね。空き瓶、発泡スチロール、ビーチサンダルの片方、ハングル文字が書かれたペットボトル等々、きりが無いくらいです。特に気になったのは、「浙江省」と刻まれた空色の浮きです。一時期大変多く漂着していた時がありました。九州の対馬で海岸清掃の活動をされている方と知り合う機会があり、浙江省の浮きの話をしたら、対馬でもよく漂着しているそうで、その界隈（？）では有名な浮きなんだそうです。また、海岸から少し離れた草むらの影に空き缶、ペットボトルのポイ捨てやタバコの吸い殻が目立ちますね。

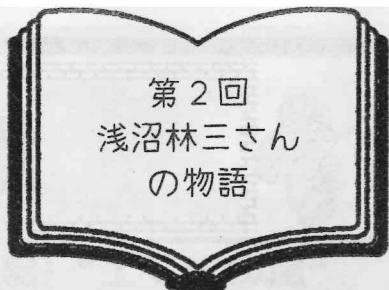
**Q: 今後の活動についてお聞かせください。**

A: 冬場はお休みして、また来年の3月から活動を再開します。毎回、活動に必要な軍手やゴミ袋は、クラブで用意しますので、汚れても良い服装でお集まりください。詳細につきましては、「社協だより」来年3月号に案内を掲示させていただく予定ですので、そちらをご覧ください。



# マイ・ストーリー

あなただけの物語、聞かせてください



あの時のことは

ひとつも忘れていないよ

昭和7年9人兄弟の5番目、三男として神着で生まれた浅沼林三さん85歳。

「少年時代」と言って思い出すのは「戦争疎開」だ。終戦の2年前に学童疎開で三宅島から練馬に疎開した。その後、もっと奥へ疎開する予定であったが練馬で終戦となった。最初は舟艇で疎開する予定だったが、途中で嵐に遭い、引き返して三宅島に戻る事となる。生徒を降ろした後、その船は三ノ輪で空襲を受けて沈没した。今でも三ノ輪に慰靈碑があるという。次に乗った船は小さな船だった。「毒でないものは何でも食べたよ。」浅沼さんのこの一言で戦争を知らない私たちでも、戦争の悲惨さが伝わってくる。終戦後、三宅島に戻った浅沼さんは、学校に通った。学校と言っても勉強なんかできる時代ではなかった。現在の児童公園の駐車場が当時は桑畠で、そこで働くことが「学校に通う」という事だった。24歳の時に2歳年上の和己さんと結婚し、杉山運送に20年勤めた。消防団の神着分団長として昭和58年の噴火の時に出動した。「夕景浜に水を放ちに行ったりけど、溶岩に水をかけても水の泡だよ。」と浅沼さんは笑った。「当時50人以上いた団員をまとめるのも大変だったよ。」と語る浅沼さんだが、この人柄で団員から慕われていたのは間違いないと感じた。杉山運送退社後、前田建設に入社した。54歳の時、仕事中、ユンボに足を巻き込まれて開放骨折をした。この時、もはや足に痛みはなく足の感覚が無くなっていたのでもう足はダメだと諦めたそうだ。ヘリで搬送され、大手術をした。



皮膚が無くなっていたので皮膚移植を余儀なくされた。そして奇跡的に足は完治した。この話を聞くだけで、痛みに強いだけではなく心の強い人柄だと伺える。浅沼さんの今の趣味は1日2回の散歩と弟さんと一緒に行くドライブだそうだ。そして今の夢は「杖なしで歩くこと！」と強く語ってくれた。「神着はいいとこだよ。」と強く優しい笑顔で話してくれたのがとても印象的でした。林三さん、急な取材のお願いを快く受けて頂きありがとうございました。とても感謝しております。強く優しいお人柄が培われてきた日々、1本の映画を見ているようにも思えた林三さんのストーリーでした。強く優しいストーリーと楽しい取材の時間、本当にありがとうございました。



神着在住の浅沼さん

# Twitterはじめました！



みなさんフォローお願いします!  
ツイッターアカウント→@mjshakyo

## 三宅島社会福祉協議会



社協のホームページも公開しています！  
是非ご覧ください。



編集後記 気づけば早い  
もので今年も師走を迎えました。  
来年の準備をしつつ、今年やり残したことは無いかと日々頭を巡らせて います。  
広報では、今年度、新たな取り組みを幾つかしてみました。「マイ・ストーリー」や職員紹介といった新コーナーの他、Twitter も始めました。地域の皆さんに注目される広報を作つていきたいと思いまます。